

目的や表現の仕方の関係を考えて文章を書くこと

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

2つの文章を読み取り、それぞれの意図や目的による違いが挙げられない。

役割や目的が具体的に示されていない。

中心に書かれている。明書は、使用方法や使用上の注意などを

それは、説明書は、使用方法や使用上の注意などを

伝えようとするものです。

広告とは、商品の特

ちようやすくれているところをできるだけ多くの人に上手く

広告の目的は書かれているが、その目的に合わせた表し方の工夫が具体的に示されていない。

実践の概要

単元名

広告大賞を目指して、夢の〇〇商品の広告を作ろう

『広告と説明書を読みくらべよう』東京書籍

目標 目的に合わせた表現の違いに気を付けながら2つの文章を読み、その違いをまとめ、目的と表現の仕方の関係を考えて広告を書く。

- 内容
- 目的と表現の仕方の関係を考えて、広告を書くという単元の見通しをもつ。
 - 広告と説明書それぞれの目的に応じた表し方の工夫や違いを、キーワードを使ってまとめる。
 - 目的と表現の仕方の関係を考えて広告を書く。
 - 広告を交流し合い、単元を振り返る。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	自分の投書を新聞に投稿しよう	自分の主張に沿った理由とその理由につながる根拠が書けない。
第5学年	「和の魅力リーフレット」を作ろう	目的に応じた小見出しを作り、その内容を説明する文章を自分の考えと区別して適切な資料を入れながら書けない。
第4学年	広告大賞を目指して、夢の〇〇商品の広告を作ろう	2つの文章を読み取り、それぞれの意図や目的による違いが挙げられない。
第3学年	理由がわかるように書こう	自分の考えたこととその理由を整理し、順序立てて書くことができない。
第2学年	絵を見てお話を作ろう	場面がつながるように、伝えたい事柄を決められない。
第1学年	のりものかるたをつくろう	調べたことから、学習のめあて(役目・つくり・できることを意識して書く)に則した伝えたい内容が決められない。

単元末の目指す姿

- 2つの文章を比較しながら読み、目的と表し方の結び付きがわかるように、それぞれの違いに気を付けながら文章にまとめることができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

書かれている事柄の違いや表し方の工夫について話し合い、違いをわかりやすく板書で整理する。

活動のねらい ▶ 目的や意図に応じた取り上げ方の違いや表し方の工夫に気付くことができる。

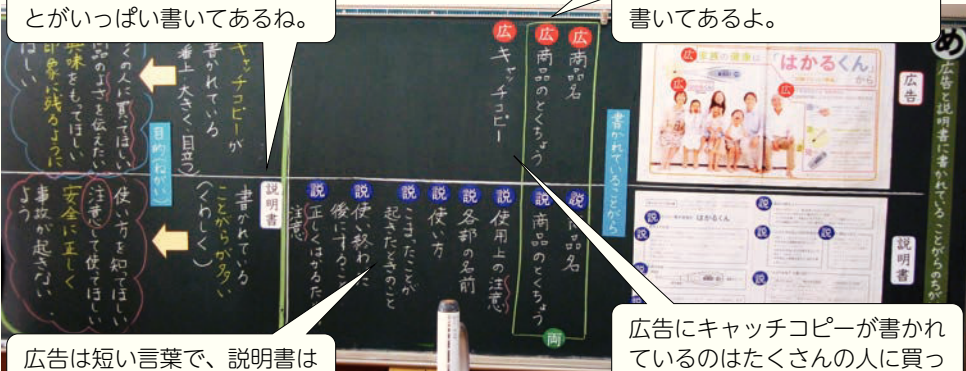
ここがポイント

広告と説明書の書かれている事柄や表し方について、読み取ったことを話し合わせる際、板書を上下に分け、広告と説明書を左右に分け、書かれている事柄と表し方の工夫について示すなど構造的に書きまとめ、それぞれの目的や書き手の意図に気付くようにする。

授業の様子

説明書には注意してほしいことがいっぱい書いてあるね。

広告は商品の特徴やキャッチコピー、商品のいいところが書いてあるよ。



広告は短い言葉で、説明書は詳しく書いてあるね。

広告にキャッチコピーが書かれているのはたくさんの人に買ってもらうためじゃないかな。

(期待される児童の姿)

書かれている事柄や表し方の工夫の違いを話し合わせ、板書で明確に整理することで、目的と表現のしかたの関係に気付くようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

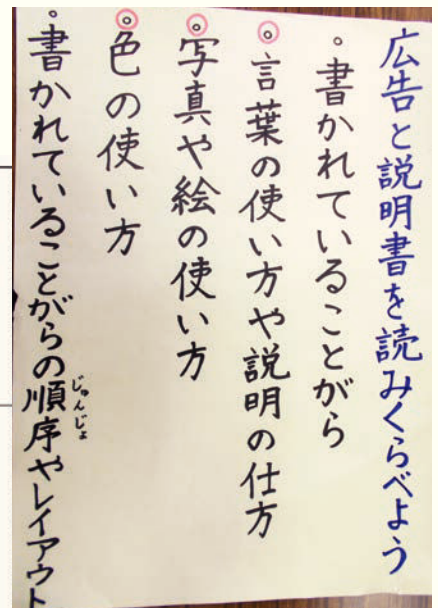
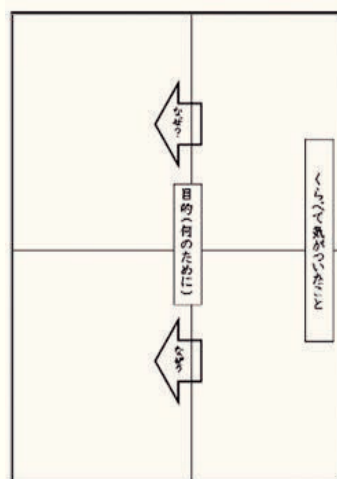
整理した内容からキーワードを提示し、そのキーワードを使って、目的と表し方の結び付きに気を付けながら、違いをワークシートにまとめさせる。

活動のねらい ▶ 2つの文章を読み比べ、目的と表し方の結び付きがわかるように、違いを文章にまとめることができる。

ここがポイント

板書と対応したワークシートを準備し、板書のキーワードを使って、目的による違いを書きまとめられるようにする。違いを書きまとめる観点を書いた掲示物を提示し、それぞれの観点から目的による違いをまとめられるようにする。

授業の様子



(期待される児童の姿)

板書で整理された内容を手がかりに違いを比べ、キーワードを提示することで、それぞれの表し方の違いに気を付けながら、まとめることができるようになる。